

「安心カード」の普及支援

(一社)前橋市薬剤師会

同会では、前橋市社会福祉協議会が推奨している「安心カード」の普及支援を行っている。「安心カード」とは、自分の住所、氏名のほか、医療・お薬情報や緊急連絡先などを記入して、専用容器に入れ冷蔵庫に保管しておくもので、自宅で具合が悪くなった際、かけつけた救急隊員などが、スムーズで適切な処置を行うために活用される。

同会に加入する42薬局が協力し、持病をもった一人暮らしの高齢者など約3,000人に、既に配布を行った。

こうした取組みは、地域の薬局が、かかりつけ薬局として適切な薬を提供することに加えて、健康サポートステーションとして有益情報を発信し、地域住民の健康支援を行おうとする活動のひとつ。



社会貢献活動として、公園の水道施設を点検

伊勢崎管工設備(協)

6月1日、水道週間の時期に合わせて、組合員69社協力の下、伊勢崎市内の公園156カ所を巡り、水道施設の点検や部品交換などの社会貢献活動を行った。当日は、伊勢崎市役所を出発式を行っ



伊勢崎市役所を出発する作業車



た後、作業員を乗せた軽トラックが点検に向かった。この取組みは、2010年より行っており、今回で14回目となっている。

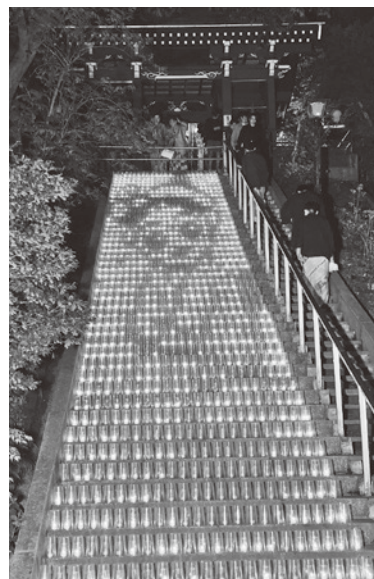
この他にも、市民のライフラインである水道本管を24時間体制で守る緊急修繕業務を行うなど水を安定的に供給することで、地域社会への貢献に努めている。

湯畑でキャンドルイベントを開催

草津温泉旅館(協)

6月3日、草津温泉街をキャンドルで彩るイベント「夢の灯り」を湯畑周辺で開催した。パワースポットと言われる光泉寺の石段と白旗源泉前に約1,300個のキャンドルを並べ点灯。立ち込める湯けむりとキャンドルライトが幻想的な光景を生み出し、訪れた観光客の目を楽しませた。

同イベントは3年ぶりの開催。2011年に始まり、隔週土曜日や連休に実施してきた10年以上続く人気のイベントであったが、コロナ禍で中止していた。今後も同温泉観光協会と協力しながら、開催を目指していく。



草津温泉のキャラクターゆもみちゃんをキャンドルで浮かび上がらせた

Local Area News

原材料高騰に対する対応等を学ぶ

群馬県製麺工業(協)

6月15日、前橋商工会議所会館において、二部構成の研修会を実施した。第一部では、製麺業界向け唯一の専門誌を発行する株式会社麺業新聞社・代表取締役三宮弘志氏が講師となり、「原材料等価格高騰に対する対応について」をテーマに講演を行った。

原材料高騰に対しては、製品をリニューアルした上での価格改定交渉や、仕入を工夫して調達コストを削減することが考えられる。また、価格変動が起きることを想定して、どのように対処するかを予め検討しておくことが必要と述べた。



三宮社長(麺業新聞社)

第二部では、新規に加入した賛助会員の株式会社ユニワイドとホクト産業株式会社が業界事情に触れ、自社商品を紹介した。

イノベーション伴走支援事業 委員会を開催

群馬県室内装飾事業(協)

6月30日、本会のイノベーション伴走支援事業「組合価値向上型事業」における第1回委員会を開催した。同事業は、組合の魅力や価値を発信するメディア戦略を支援するもの。

同組合は、業界を牽引する団体として創立50周年を迎える中で、技術力の向上に加え、新規顧

客獲得に向けた取組みの必要性を実感。そこで、ラジオCMを媒体にして対外的PRを行うことを計画している。

委員会では、組合に加入していない職人へも届きやすいように放送時間の検討を行った。今後は、『知識・技術・心』をキーワードにCMコンテンツの内容を決定していく。



効果的なラジオCMの製作を検討

創立50周年式典を開催

館林金属工業団地(協)

6月30日、日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホールにおいて、創立50周年記念式典を開催した。関係者及び来賓ら総勢240人が参加、半世紀の歩みを祝い、今後の発展を誓った。

鈴木郁男理事長(株式会社岡田製作所・代表取締役)は「50周年は通過点。今まで以上に協力し合い組合を盛り上げていきたい」と式辞を述べた。

功労者や優良従業員の表彰に続き、館林市から鈴木理事長へ感謝状が贈られ、本会から多田征訓元理事長へ表彰状を授与した。

式典終了後に祝賀会を開催。100余名が参加し、盛大に執り行われた。



表彰状を受け取る
多田元理事長(右)



主催者挨拶をする鈴木理事長